

次期戦略的イノベーション創造プログラム（次期SIP）
課題候補「サーキュラーエコノミーシステムの構築」に係る
第5回検討タスクフォース 議事要旨

1. 日時：令和4年10月14日（金） 15時00分～17時00分
2. 場所：経済産業省 第1特別会議室（本館17階西7）及びWeb会議（Teams）によるハイブリッド開催
3. 出席者：別紙のとおり
4. 議題
 1. 前回議事録の確認
 2. 次期SIP課題候補「サーキュラーエコノミーシステムの構築」のビジョンについて
 3. FS基礎的調査の進捗状況について
 4. FS個別テーマ調査の進捗状況について
 5. ワークショップの開催結果について
 6. タウンミーティング及びサイトビジットについて
 7. 今後のスケジュールについて
5. 配付資料
 - 資料1 第4回検討タスクフォース議事要旨
 - 資料2 次期SIP課題候補「サーキュラーエコノミーシステムの構築」

のビジョン

- 資料 3 FS 基礎的調査状況
- 資料 4 FS 個別テーマ調査状況
- 資料 5 ワークショップ開催結果の概要
- 資料 6-1 タウンミーティング開催結果の概要
- 資料 6-2 サイトビジットの概要
- 資料 7 FS スケジュール
- 資料 8 出席者リスト
- 参考資料 1 9/8 サーキュラーエコノミー・ガバニングボード報告資料

6. 要旨

- (1) 研究推進法人からの第 4 回 TF 議事要旨の確認に続き、伊藤 PD 候補から本 SIP 課題のビジョンについての説明がなされた。ここでは、素材開発・設計に偏りすぎず、デジタル化や動静脈連携といった観点に注力する方針について共有された。
- (2) 調査分析機関から、FS 基礎的調査状況について、説明がなされた。事例として自動車メーカーの動静脈連携が取り上げられた。今後、他業種へも類似の動向が波及することを見据え、先回りの検討が必要であることの認識が共有された。
- (3) 伊藤 PD 候補から、FS 個別テーマ調査の進捗状況について、説明がなされた。ここではワークショップを通じて欧州の動向を紹介しつつ、各参画事業者に対し日本として何を進めるべきか、認識してもらっている

ことの共有がなされた。

(4) 研究推進法人から、ワークショップの開催結果や、タウンミーティング及びサイトビジットの開催についての説明がなされた。

(5) 次回 TF の開催日程について、11 月に開催することを確認した。詳細の日程・場所は追って決定されることとなった。

以上

【別紙】

次期戦略的イノベーション創造プログラム(次期SIP)

課題候補「サーキュラーエコノミーシステムの構築」第5回検討タスクフォース 出席者リスト

【座長(PD 候補)】

伊藤 耕三 東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授

【座長代理(サブ PD 候補)】

岡部 朋永 東北大学院工学研究科 教授

【戦略コーディネーター候補】

唐沢 かおり 東京大学大学院人文社会系研究科 教授

高岡 昌輝 京都大学院工学研究科 教授

【関係省庁】

文部科学省 科学技術・学術政策局 研究環境課

経済産業省 製造産業局 素材産業課 革新素材室

経済産業省 産業技術環境局 資源循環経済課

環境省 大臣官房総合政策課 環境研究技術室

環境省 環境再生・資源循環局総務課 リサイクル推進室

環境省 自然環境局 自然環境計画課 生物多様性主流化室

デジタル庁 戦略・組織グループ企画・審査担当

【研究推進法人】

独立行政法人環境再生保全機構 総務部

独立行政法人環境再生保全機構 環境研究総合推進部

【調査分析機関】

野村総合研究所 サステナビリティ事業コンサルティング部 サーキュラーエコノミー戦略グループ

【オブザーバー】

小松 秀樹 株式会社ブリヂストン ソリューション・探索・化工品事業管掌 フェロー

吉岡 敏明 東北大学院環境科学研究科 教授

【事務局】

内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 統合戦略(エネルギー環境)担当